

市 長	副市長	収入役	部 長	課 長	参 事	課長補佐	係 長	記 録

【所属名：市民部環境生活課市民生活係】
【会議名：犯罪のない安全・安心なまちづくり
推進計画策定委員会】

■開示
☐一部開示 (理由:条例第7条第2号 該当)
☐不開示
☐時限不開示 (開示: 年 月 日)

糸魚川市犯罪のない安全・安心なまちづくり 推進計画策定員会委員会会議録

(令和6年度)

日	令和7年2月20日	時間	14:00～14:45	場所	市役所204会議室
件名	第2回 犯罪のない安全・安心なまちづくり推進計画策定委員会				
出席者	【出席者】 5人(以下敬称略) 池田正夫、風間光和、比護山之助、笠原幸江、清水友樹 【アドバイザー】糸魚川警察署生活安全課長 角田章 【事務局】 環境生活課 木島課長、赤野係長、土沢主査				
	傍聴者定員	0人	傍聴者数	0人	

会議要旨

1 開会

2 委員長あいさつ(能生地域防犯組合協議会 池田会長)

禅宗の寺の団子まきが毎年2月10日前後に行われ、そこが季節の変わり目であったのだが、今シーズンは晴れ、曇り、風と忙しい天候。

前回の委員会以降の計画について意見をいただき、より良い計画となるようお願いしたい。

3 協議事項

【主な質疑・意見等】

(委員)

パブコメが0件であったが、市民は計画を知る機会がないのではないかと思います。市のホームページで周知もされているが見ていない。意見を出せる制度があるのだから皆に知ってほしい。

(委員長)

齋藤委員も同様なことをほかの委員会で述べていた。意見がないのは時期的なものも影響しているとも言っていた。

(委員)

せっかくの制度のため、PTA連絡協議会からも情報を発信していきたい。

(アドバイザー)

SNS型ロマンス詐欺・投資詐欺は警察庁が特殊詐欺に分類しないという話でこうなったが、特殊

詐欺は 20 年ぐらい前から入ってきていて、当初は 4 種であったものが今では 10 種までになった。SNS 型詐欺はそこに加えられないものとして出てきた。去年も 6,000 万円以上、今年も 3,500 万円以上の被害が出ている。件数だけを見ると減ってはいるが、被害額が大きいので対策が必要。地域の講演会へ行くと、特殊詐欺や闇バイトに対して不安がっている。次の計画には組み込んでもらえればと思う。

(委員長)

能生では防犯組合協議会、区長連絡協議会、活性化協議会の合同研修会をやっている。高齢者の一人暮らしが多い中、通販トラブルが多い。高齢者はホームページを見ない。チラシを直接配ることの方が効果的。年 3～4 回、警察から情報をもらってチラシを作成し、配布している。引き続き、啓発活動に努めていきたい。各地区の区長も防犯意識が高く、地域をあげて防犯対策に取り組んでいる。

(事務局)

SNS 型詐欺は本計画に掲載するには数字が取れない（※警察でも R 5 年度からの数字しかない）ため、次期計画から掲載したい。

(委員)

特殊詐欺と SNS 型詐欺はどう違うのか。

(アドバイザー)

何か月とかの単位で関係を築き、継続してだまし取ることから、その場で完結する特殊詐欺とは違う。市民への説明は詐欺の分類に関係なく、手口を説明してあげてほしい。

現在は、ロマンス詐欺や投資詐欺でもなく、スマホの画面複写でだまし取る手口が流行っている。スクリーンショットがずれて相手に損害が発生したという手口でだまし取る。

(委員)

人口が減っている中で、グラフの数値は成果として増えているのか減っているのかわからない。グラフの中にテキストボックスを使って説明が入るとわかりやすい。中身の説明がないと傾向が見えない。

(アドバイザー)

仰るとおりであり参考にしたい。

(委員長)

件数は市内の数字を集めたものか？保護司会の場合だと市外の人の件数も入ってくる。

(アドバイザー)

発生地でカウントしている。

4 その他

(事務局)

- ・ 3 月 5 日の市議会常任委員会で報告し成案とする。
- ・ 本委員会についてはこれが最後となる。これまでのご協力に感謝申し上げます。

5 閉会